

確認 1. 関東大会について

2006年1月22日に第3回関東大会が埼玉県を会場に行われました。神奈川県からは昨年度の決定に基づいて、先の総文祭大会で推薦を受けた生徒達を含め30名ほど参加・見学をしました。各校引率教諭ほか高視研会長兼高文連放送・情報専門部会長（三浦先生）・高視研事務局長（小林先生）も出席しました。

当日開かれた関東地区代表者会議には、小林、海部、川又が出席しました。その会議では、（1）関東地区高等学校文化連盟放送部会規約（2）今後の大会開催県（3）関東地区代表者会議日程の確認等が話し合われました。

（2）の今後の大会開催県は平成19年 群馬県
平成20年 東京都
平成21年 千葉県
平成22年 神奈川県
平成23年 山梨県

となっております。

その後3月30日に関東地区高等学校放送部顧問代表者会議（会場：オリンピック記念青少年総合センター）が開催され、第3回大会の反省ならびに第4回大会（群馬大会：開催月日・1月20日（土））に向けての要項案が検討されました。

神奈川県では、平成22年1月開催（予定）に向けて、今後検討を進めていきます。

確認 2. 外部からの参加要請について（一昨年度の確認）

全総文祭神奈川大会以来、放送部門の認知度が上昇し、多方面から司会や朗読の依頼を受ける結果となった。

そのためここでルールを整備し確認したい。

1. 基本的には依頼は、受ける方向で考える。
2. 約2ヶ月前には依頼の打診が必要
3. 派遣対象者はNコン上位者から順に声をかける
4. 本人の意思、学校の意向を尊重する
5. 男女別の依頼は受けない
6. 派遣対象校が確定したら、以後はその団体と派遣学校で話を詰める
7. 教員や生徒の派遣依頼は該当団体が該当校向けに発行する

《昨年度の参加要請》

- 第29回全国高等学校総合文化祭青森大会派遣生徒激励会
- 国体夏季大会 結団式（主催：県体育協会）
- インターハイ壮行会
- 県高等学校総合文化祭開会式
- 県高等学校総合文化祭閉会式

《本年度参加要請（確定分）》

- 第30回全国高等学校総合文化祭京都大会派遣生徒激励会
- 県高等学校総合文化祭開会式
- 県高等学校総合文化祭閉会式

提案1. 高文連理事・高文連事務局長について

例年、高視研校内放送委員会（役員校）の委員長と副委員長が高文連理事・高文連事務局長のいずれかを兼任していました。しかし、役員校の仕事が通常のNHK大会、アンデパンダン大会の運営のみならず、高文連の大会（総合文化祭放送部門大会）、派遣激励会、総合開閉開式の司会生徒対応や、会議参加などの業務が増えてきました。また、参加校数・参加生徒数の減少で、通常委員校生徒が中心となって動いていた審査補助生徒のやりくりも難しくなってきました。その為、本来の大会運営以外の仕事が増えてきました。よって、今後一定の期間、高文連業務のうち、理事・事務局長・総文祭生徒委員の仕事は校内放送委員会から外すことを提案します。

提案2. アンデパンダン大会と県高総文祭放送部門大会の今後について**1. アンデパンダン大会について**

参加校数・参加生徒数の減少にともない、昨年度のアンケートをもとに本年度以降のアンデパンダン大会の運営について以下のことを提案したい。

1. アナウンス・朗読部門は現行通り実施する。
2. 報道・文芸部門を廃止する。新にテレビ部門を新設する。
3. 放送劇部門は現行通り実施する。
4. DJ部門は企画部門とし、審査対象としない。

2. 県高総文祭放送部門大会の運営について

審査補助を参加校の教員で行なうことを提案したい。

→ 参加申込み当日、補助役員の教員人数が決定する。大会参加校で、生徒引率で来ていただく先生方に審査並びに審査補助の仕事をお願いする。

3. アンデパンダン大会と県高総文祭放送部門大会の開催日程を分ける。

アンデパンダン大会を11月開催、県高総文祭放送部門大会を12月に開催する方向で検討を行うことを提案したい。